

三重県

日本環境経営大賞

～地域における「環境経営の発展」と「環境文化の創造」～

三重県では、「持続可能な社会の構築」を目指し、地域における「環境経営の発展」と「環境文化の創造」を目的とした「日本環境経営大賞」を平成14年度から実施しています。

この表彰制度は、事業規模の大小や業種・業態にかかわらず、全国の企業(事業所)、NPO、学校、病院などの環境経営の取組の中からその“さきがけ”となるものや優れた成果をあげているものを表彰するものです。

第6回(平成19年度)は、全国から145件の応募をいただき、日本環境経営大賞表彰委員会の審議により、伊那食品工業株式会社(長野県)をはじめ、それぞれ

特徴のある15の受賞者を表彰しました。回を重ねると共に、中小企業からの応募が増加してきており、多様な環境保全の取組や新しいビジネスモデルに関する応募も多数見られ、環境経営の浸透や、「環境文化の創造」の広がりが見られます。



環境経営パール大賞受賞の伊那食品工業株式会社

また、この表彰制度で得られた、先進的で優れた成果を上げている取組事例を県内事業所等にフィードバックし、環境経営の発展ならびに「環境文化の創造」につなげるため、セミナーや勉強会を三重県内だけでなく、東京・大阪などでも定期的に開催しています。



第6回受賞者のみなさん

なお、三重県内においては、金融機関を対象としたセミナーや、サイトレポート勉強会などを継続して開催してきた結果、環境配慮型経営を支援するプランの取り扱い開始など金融のグリーン化や、サイトレポート作成企業や環境教育プログラム実施企業の拡大など、地域環境コミュニケーションの広がりが出てきており、「日本環境経営大賞」による効果が徐々に出てきています。

三重県環境森林部地球温暖化対策室

☎059-224-2316

四日市市

公害の歴史を忘れず、持続可能なまちづくりを推進

四日市市の名は、室町時代、4のつく日に市が立ったことに由来します。鈴鹿山脈と伊勢湾に抱かれ、質・量ともに豊富な水に代表される豊かな自然に恵まれた商工業都市です。

本市は、日本有数の産業集積を擁しているため、地域から排出されるCO₂の約8割が産業分野からとなっています。一方、民生家庭・業務、運輸乗用分野からのCO₂排出量の伸びは著しく、各分野への対策を急ぐ必要があります。そこで、今年3月「地球のためのよっかいちエコプラン みんなでCO₂ダイエット(四日市市地球温暖化対策地域推進計画)」を策定し、家庭向けの取り組みとして、「よっかいち1人1日1kg CO₂ダイエット」を推進しています。これは、個人や市民団体、企業のみなさんにホームページや携帯サイトからご登録いただき、日常生活でのCO₂削減行動をチェックしていただくものです。そのほか、お財布にも環境にもやさしい運転を身に付けていた



姉妹都市米国・ロングビーチ市と友好都市中国・天津市と四日市市の中高中生による成果発表の様子

くエコドライブ講習会や、次世代の環境人材を育成するため「姉妹都市・友好都市による中学生環境サミット」を開催し、環境配慮意識の啓発に努めています。

また、企業や市民団体の取り組みも進んでいます。市内の百貨店とホテルなどが共同でマイ箸キャンペーンを展開したり、コンビニートに立地する企業群などがまとまってエコ通勤の試行を行ったり、三重県版の環境マネジメントシステムを取得した中小企業が勉強会を定期的に行ったり、登録文化財である中心市街地活性化施設を核に、周辺商店街などに働きかけてライトダウンの取り組みが広がったりと、枚挙に暇がありません。



霞コンビニートで行われたエコ通勤試行は、294台の通勤自動車削減に寄与

今年は市制施行111周年。これからも公害の歴史を忘れず快適環境を目指す都市として、市民・事業者・行政の協働のもと、「四日市から始める、持続可能なまちづくり」を進めていきます。

四日市市環境部環境保全課 ☎059-354-8188